

### 目標達成のための施策

		← 計画に記載 →				
基本理念	基本方針	課題	施策	事業	想定される具体的な取組み	
分けて減らして みんなで創る 資源循環のまち	(1) 発生抑制	① 生ごみや食品ロスの減量化の推進	生ごみ・食品ロスの発生抑制	・3キリ(使いキリ、食べキリ、水キリ)運動の促進	・家庭における生ごみの水切りの継続的な普及啓発と、協力効果の周知 ・家庭における食品ロス削減のための取組みの情報発信 ・食品ロス実態調査結果を活用した啓発資料の作成・配布 ・エコレシピ(食品ロス削減レシピ)の普及啓発	
				・事業者に向けた生ごみ・食品ロスの発生抑制の啓発	・30・10(さんまるいちまる)運動の促進 (30・10運動:宴会時などに最初の30分と最後の10分は提供された食べ物を食べきる時間とすることで、フードロスの削減を目指す取組み)	
				・フードドライブ活動の推進、フードバンク活動との連携推進	・子ども食堂、フードパントリーに取組む団体等に対する協力 ・市内事業者への情報提供・啓発	
				・災害用備蓄食料の有効活用方法の検討	・既存事業の継続(フードドライブへの寄付)	
		② 廃プラスチックの減量化の推進	廃プラスチックの発生抑制	・廃プラスチックの発生抑制の啓発、効果のPR	・マイバッグ・マイボトル・マイ箸・マイ傘袋の利用促進 ・簡易包装や詰め替え製品等の環境配慮型商品の購入促進	
		③ リユースの取組強化	循環型ライフスタイルの促進	・循環型ライフスタイルの継続的な意識啓発	・不要な物は受け取らない(Refuse)取組みの促進 ・フリーマーケットやリサイクルショップの利用促進 ・レンタル、リース、シェアリング、サブスクリプション等サービスの利用促進 ・不用品譲渡Webサービス、不用品比較査定Webサービスの活用推進	
				・不要となった電化製品や衣類等の店頭回収の利用促進	・市内の取組み事業者の紹介・啓発	
		④ 事業系ごみの減量化の推進	事業系ごみの減量化推進	・一般廃棄物排出事業者へのごみ減量協力依頼	・排出事業者に対するごみ減量化の普及啓発 ・排出事業者に対するごみ排出に関する周知方法の検討	
		(2) 資源化	① 紙類の資源化推進 ② 容器包装プラスチックの資源化推進 ③ 布類の資源化推進 ④ 小型家電の資源化推進 ⑤ 二次電池の資源化推進	分別の徹底	・可燃ごみ中の資源化可能物(紙類、容器包装プラスチック、布類)の分別促進	・分別ルールの簡明化 ・資源物の分別基準(汚れの程度の判断基準の提供・禁忌品の情報提供)の周知 ・ペットボトル(指定法人分)搬出先をBottle to Bottleに取組むメーカーに移行推進
					・不燃ごみ中の資源化可能物(小型家電・二次電池)の分別促進	・分別区分「二次電池」「小型家電」の新設(R6~)、回収拠点の増設、周知 ・蕨市の乾電池を拠点回収からごみステーション回収への移行検討
	・粗大ごみの再資源化の推進				・常設展示・販売による在庫の流動性向上の検討 ・不用品譲渡Webサービスによるリユース活性化	
	・事業者における資源化促進				・廃棄物再生事業者等の周知・連携	
	・粗大ごみ、不燃ごみに含まれる非鉄金属の回収方法・資源化方法の検討 ・焼却処理後の固化灰、不燃残渣の資源化の推進				・次期施設整備に向けた検討課題 ・固化灰の資源化推進	
	⑨ 生ごみ・食品ロスの資源化検討		生ごみ・食品ロスの資源化検討	・食品ロスの有効活用方法(子ども食堂、フードパントリー等)の検討	・子ども食堂、フードパントリーに取組む団体等に対する支援【再掲】 ・市内事業者への情報提供・啓発【再掲】	
				・コンポスト等による生ごみ堆肥化の促進	・既存事業の継続(段ボールコンポスト講習会の実施・購入補助)	
				・リサイクルフラワーセンター(生ごみ堆肥化施設)の活用推進 ・生ごみ・食品ロスの分別収集方法の検討	・既存事業を継続(処理能力が上限) ・先進事例の調査研究	
	⑩ 使用済みプラスチック使用製品の資源化検討		使用済みプラスチック使用製品の資源化検討	・使用済みプラスチック製品の収集・中間処理方法の検討	・収集、処理方法の検討 ・施設整備の検討	
	⑪ 使用済み紙おむつの資源化検討		可燃ごみ中の資源化可能物の資源化検討	・使用済み紙おむつの収集方法・資源化方法の検討	・先進事例の調査研究(鎌倉市など) ・次期施設整備に向けた検討課題	
	⑫ 剪定枝の資源化検討			・使用済み紙おむつの感染症罹患患者排出物との分別確認方法の検討 ・剪定枝、草木等の資源化の検討		

←		計画に記載			→	想定される具体的な取組み	
基本理念	基本方針	課題	施策	事業			
分けて減らして みんなで創る 資源循環のまち	2・適正かつ効果的なごみ処理システムの構築	(1) 収集運搬	① 収集体制の検討	収集運搬体制の検討	・収集体制(戸別収集、収集頻度、収集時間)の最適化	・収集体制の研究	
			② ごみ収集車両の安全対策、環境負荷の低減の推進		・収集場所でのごみ散乱防止対策の実施	・ネット式とカゴ式の立地に応じた活用	
			③ 分別の啓発強化	ごみ分別や ごみ出しルールの徹底	・ごみ収集車両の安全対策(交通、火災防止)の推進	・庫内火災発生時の対応手順の確立(消火栓近くでの停車、消防への通報、初期消火)	
			④ ごみ出しルールの啓発強化		・ごみ収集車の環境負荷低減の推進	・発火時に周辺の影響が少なく躊躇なく使用できる泡消火剤の検討	
					・可燃ごみ中の不適物(焼却不適合物、事業系廃プラスチック等)の分別の普及啓発推進	・資源ごみのうち、リサイクルできないものの周知(汚れの程度や、雑紙の見分け方など)	
					・事業系ごみの分別の啓発推進	・プラ新法対応開始に伴うプラスチック使用製品の分別方法の検討、周知	
			⑤ 集積所の適正管理の強化	集積所の適正管理の強化	・外国人世帯や単身世帯に向けたごみ出しルールの啓発推進	・感染性の家庭ごみの対応検討	・搬入検査における収集運搬業者・自己搬入業者への指導強化
						・事業系ごみの分別の啓発推進	・排出事業者へのダイレクトな事業系ごみの分別・適正排出の指導強化
						・外国語版案内による啓発、日本語版に外国語版へのリンクの掲載検討	・排出事業者が収集運搬業者を通じて適正処理の情報提供実施
					⑥ 粗大ごみの適切な受入体制の検討	粗大ごみの適切な受入体制の検討	・廃プラスチック、食品製造業からの製造ロス、製本業等からの紙ごみなどの産業廃棄物の排除推進
		・不適正に排出されたごみの対応・対策検討					・大口の排出事業者への周知指導(立入指導)に向けた規定整備
		・鳥獣害(カラス、猫等による荒らし)対策の強化					・事業所における廃プラスチック分別のためのツール提供(POPやポスターなど、外国語版など)により、一般廃への産廃混入予防
		⑦ ごみ出し困難世帯への対策	ごみ出し困難世帯への対応	・回収カゴの管理体制の見直し	・ごみステーションへの外国語版の案内看板の設置の検討		
				・集積所の最適な配置の検討	・回収カゴにPOP掲示を作成してマンションの管理人が掲示している事例など市民の工夫を拾い上げて、水平展開する取組み強化		
		⑧ 困難物の収集、処分委託の検討	処理困難物の収集・処分の検討	・回収カゴの管理体制の見直し	・回収カゴにPOP掲示を作成してマンションの管理人が掲示している事例など市民の工夫を拾い上げて、水平展開する取組み強化		
				・集積所の最適な配置の検討	・単身世帯への啓発強化		
		⑨ 少量事業系一般廃棄物の収集検討	事業系ごみの集積所への不法投棄対策	・回収カゴの管理体制の見直し	・回収カゴにPOP掲示を作成してマンションの管理人が掲示している事例など市民の工夫を拾い上げて、水平展開する取組み強化		
				・集積所の最適な配置の検討	・単身世帯への啓発強化		
		(2) 中間処理	① 各施設の適切な更新・維持管理	各処理施設の適切な更新・維持管理	・不適正に排出されたごみの対応・対策検討	・回収できない不適正ごみの取扱いルールの明確化、啓発(衛生自治会や、地域の負担にならない仕組みの検討)	
					・鳥獣害(カラス、猫等による荒らし)対策の強化	・ネット式とカゴ式の立地に応じた活用【再掲】	
・回収カゴの管理体制の見直し	・蕨市、戸田市のカゴの統一によるコスト削減及び新替頻度を増やす検討						
・集積所の最適な配置の検討	・実態調査、対応方法の検討						
② 処理体制・各処理施設の強靱化	処理体制・各処理施設の強靱化		・粗大ごみの回収申込体制の検討	・蕨市の申込回線が繋がりにくい、WEB受付や電子決済の検討			
			・粗大ごみの自己搬入受入体制の検討	・次期施設整備に向けた検討課題			
			・高齢者、障害者等のごみ出し困難世帯への対応検討	・既存事業を継続			
			・その他ごみ出し困難世帯への対応検討	・先進事例の調査研究			
③ 処理施設での火災・爆発防止	粗大ごみ処理施設の火災・爆発防止対策	・処理困難物の回収・処理委託の検討	・処理困難物の収集・衛生センターでの受入の検討、処理事業者の調査				
		・少量事業系一般廃棄物の収集方法の検討	・先進事例の調査研究				
		・各施設の更新・再延命化の検討	・次期施設整備に向けた検討課題				
		・各施設の更新に向けた、配置・処理方式・発電有無等の検討	・次期施設整備に向けた検討課題				
④ 事業系資源ごみの受入検討	蕨戸田衛生センターでの事業系資源ごみの受入検討	・安定稼働継続に向けた各施設・設備の適切な維持管理の実施	・施設長寿命化総合計画に基づく適切な維持管理の実施				
		・環境に配慮した更新・維持管理の実施	・次期施設整備に向けた検討課題				
		・余剰電力の有効活用検討	・次期施設整備に向けた検討課題				
		・災害時の処理体制の確保	・災害時処理体制構築を三者で実施				
⑤ 事業系資源ごみの受入検討	蕨戸田衛生センターでの事業系資源ごみの受入検討	・各処理施設における水害対策の検討	・災害廃棄物処理計画の管理・見直し				
		・災害時の防災拠点や避難場所としての機能検討	・次期施設整備に向けた検討課題				
		・業務継続計画の策定・見直し・管理	・次期施設整備に向けた検討課題				
		・業務継続計画の策定・見直し・管理	・業務継続計画の管理				
⑥ 事業系資源ごみの受入検討	蕨戸田衛生センターでの事業系資源ごみの受入検討	・爆発危険物(二次電池やスプレー缶等)混入防止の周知啓発	・分別区分「二次電池」の新設(R6~)、回収店舗の周知【再掲】				
		・爆発危険物(二次電池やスプレー缶等)の受入ヤードでの除去	・(蕨市)もえないごみへのスプレー缶の混入予防のため分別区分「金属類」の周知				
		・実施方法の検討	・次期施設整備に向けた検討課題				
		・実施方法の検討	・受入可能性、先進事例の調査研究				

		← 計画に記載 →					
基本理念	基本方針	課題	施策	事業	想定される具体的な取組み		
分けて減らして みんなで創る 資源循環のまち	2	(3) 最終処分	① 最終処分量の減量化	最終処分量の減量化	・発生抑制施策、資源化施策によるごみの減量化・資源化推進	・焼却灰(固化灰)の資源化の推進	
		② 最終処分先の安定確保	安定した最終処分場の確保	・最終処分場の安定確保の検討	・分散処理の確保		
	3・市民、事業者、行政の協働による循環型社会の形成	(1) その他	① 環境教育の充実	環境教育、情報提供の充実	・環境教育・普及啓発の充実	・環境ボランティアの充実 ・分別された資源ごみや中間処理で発生した資源ごみが具体的にどのような工程をたどるのか(排出から再商品化、商品としての陳列まで)動画コンテンツ等で啓発 ・町会等を対象とした環境学習研修会や処理施設見学会の実施の検討 ・子どもの取組みからの家庭への波及を狙う施策の実施の検討	
					② ごみの減量・リサイクルに関する情報の充実・周知啓発強化	・ごみの減量・リサイクルに関する周知啓発の推進	・市と組合が連携した啓発体制の検討 ・駅前や駅舎内、商業施設などの多数の人が利用する施設等での啓発活動 ・ごみ分別アプリの導入(戸田市導入済、蕨市導入検討中)
					③ 情報公開体制の整備・充実	・ごみ処理や費用の見える化の検討 ・環境負荷状況や施設整備過程等の情報公開体制の整備・充実	・組合ホームページのスマホ対応・コンテンツ充実 ・一般廃棄物処理基本計画の策定、進行管理、見直しに係る情報公開 ・施設の維持管理状況に係る情報公開
			④ 地域貢献の充実	周辺地域への貢献	・リサイクルフラワーセンターの花苗育成による環境美化の推進	・既存事業を継続	
					・高齢者、障害者の就労機会提供	・既存事業を継続(RFCにおける障害者・高齢者活用)	
					・余剰電力の活用検討	・次期施設整備に向けた検討課題	
			⑤ 不法投棄への対策	不法投棄、資源物持ち去りの防止	・地域貢献方法の検討	・地域貢献企画、環境啓発企画の実施	
					・不法投棄パトロールの強化	・既存事業を継続	
			⑥ 資源物持ち去り業者への対策	不法投棄、資源物持ち去りの防止	・資源物持ち去り業者の利用防止に係る啓発強化	・無許可業者・悪徳業者に関する注意喚起	
					・警察や市民団体等とも連携した資源物持ち去り業者の監視強化	・実施方法の検討	
					・家庭ごみ有料化の課題整理や検討	・家庭系ごみ有料化の課題整理や検討(循環型社会形成推進交付金の交付要件)	
					・事業系一般廃棄物処分手数料の見直し検討	・一定期間ごとの検討導入(現状コストから推計コストへ積算根拠を変更し、乖離を縮減)	
			⑦ ごみ処理費用の負担方法の総合的検討	ごみ処理費用の負担方法検討	・処理困難物の処理コスト負担方法の検討	・事業系ごみ指定袋制度の活用、整理の検討	
					一般廃棄物会計基準の導入	・受益者負担による処理手数料の検討(マットレス・動物死体・処理困難物等)	
						・一般廃棄物会計基準の導入	・R4決算分から導入